

# 中信勢の躍進光る

松島準V  
開智3位

青空の下で繰り広げられた第十六回市民タイムス杯少年サッカー新人戦の二日目。実力チームが残った準々決勝以降の試合は、点の奪い合い、PK戦にもつれ込む接戦もあり、白熱した試合が見られた。最近

三回の大会では南信、北信のチームが優勝していたが、今回は松本市をはじめ中信勢が健闘した。グラウンドには選手の父母らが大勢応援に駆け付け、ゴール前に攻め込むたびに、大きな歓声が上がった。

## 25日の結果

◇旭町中学校グラウンド  
▽準々決勝

裾花4 3 1 0 0  
0 大町

松島2 2 0 1 0  
1 茅野市

鎌田4 2 2 1 2  
3 豊科北

開智3 0 3 1 0  
1 塩尻西

▽準決勝

松島0 5 P 0 0 0  
4 K 0 0 0  
0 裾花

鎌田2 0 2 0 1  
0 1 開智

準優勝の松島サッカー  
スポーツ少年団



## チーム一丸 伸び伸び栄冠

鎌田

○：「やった、優勝だ。試合終了のホイッスルが鳴ると、グラウンド中央に鎌田の選手の歓喜の輪ができた。「要所で競り負けず伸び伸び試合した」と、村松昭雄監督(○)が振り返るとおり

の快勝だった。決勝の2ゴールを含め、今大会6得点を挙げたF Wの小谷宜明選手(○)は、「皆を盛り上げた」と、最後列から大きな歓声で味方を励ました。来年以降の飛躍が楽しみだ。

登録選手十六人のうち、四年生が十人と多く、「これから夢の持てる選手(○)と同小四年」と村松監督。冬は基本練習に取り組むといい、発展途上のチームは



3位の開智サッカースポーツ少年団



3位の裾花フットボールクラブ